

東南アジアの成長エンジン インドネシア

インドネシア特集



ジャカルタを中心にインフラ整備も進む
(ビジネスインドネシア提供)



部品メーカー進出、中堅・中小も

日本で工業団地販売

最近は大企業だけでなく、中堅・中小の部品メーカーの進出も活発だ。工業団地の運営会社は受け皿づくりを急いでいる。伊藤忠商事は西ジャワ州のカラワン工業団地内に、延べ床面積3000・5000平方メートル規模の賃貸工場10棟を年内につくる。4・5月に賃貸工場の建設に着手し、10・11月に完成させる。賃料は正式に決まってい

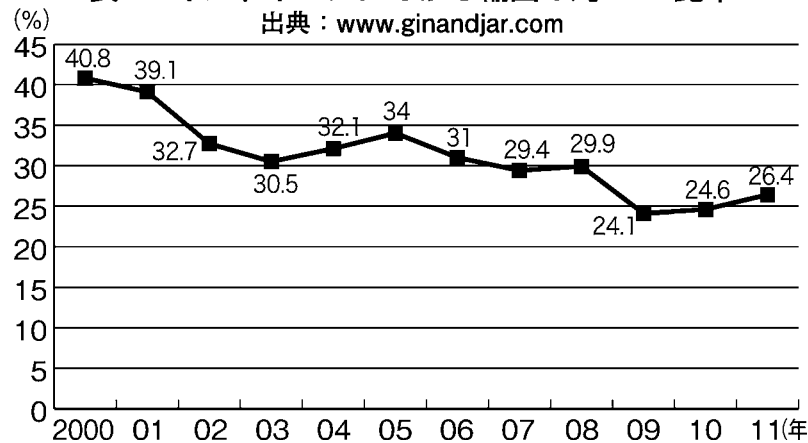
ないが、1平方メートルあたり6・7ドル前後(約500円)になる見込みだ。同社は現地の財閥企業「シナルマスグループ」と折半出資でカラワン工業団地を開発・運営。同工業団地はジャカルタ中心地から車で約1時間の位置にあり、工業用水や電力などのインフラはすでに整っている。既存の工業団地には「輪・四輪業界を始めとした日系

自動車産業中心に投資活発



旺盛な個人消費に支えられる自動車産業 (ビジネスインドネシア提供)

表1 インドネシアにおける輸出の対GDP比率
出典: www.ginandjar.com



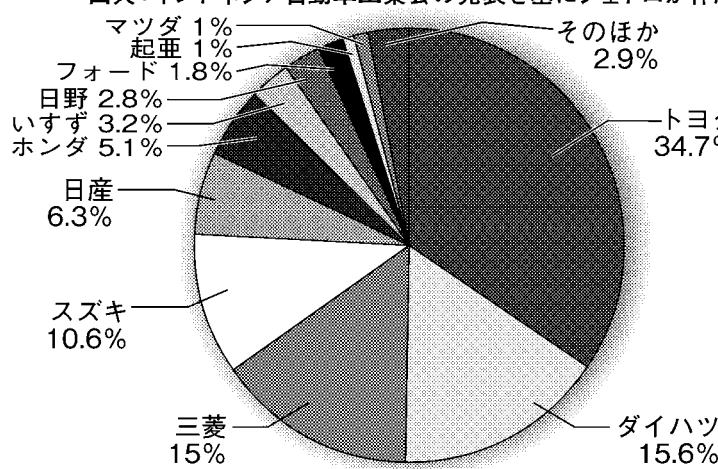
低い輸出依存度

「インドネシアの強みは輸出に依存していないことだ」。インドネシアの著名な政治家兼経済専門家のギナンジャ

インドネシア経済が着実に成長している。2億4000万人の消費がけん引役となり、自動車を中心に市場が急速に拡大している。日本企業も現地進出を本格化し、直接投資も活発だ。世界経済が不透明な中、右肩上がりの成長が期待できる有望市場としての存在感が一段と高まってきた。

経済発展受け消費市場拡大

表2 インドネシアの自動車販売シェア
出典: インドネシア自動車工業会の発表を基にジェトロが作成



タイを抜き販売首位

安定した経済を支えているのは個人消費の役割も大きい。11年の自動車販売台数は前年比16・9%増の89万台となり、79万台のタイを抜いて東南アジア諸国連合(ASEAN)1位に躍り出た。12年は92・9万台と予想されており、100万台の大会が見えてきた。(ジェトロ・ジャカルタ事務所)との声もある。企業別の販売台数では、トヨタ自動車が前年比10・7%増の31万台、ダイハツが同17・7%増の13万台、三菱自動車は同26・2%増の13万台、スズキが同32・8%増の9万台、日産自動車は同49・7%増の5万台、日野が同24・2%増の2万台、いすゞが同24・2%増の2万台、ホンダが同24・2%増の2万台、フォードが同24・2%増の2万台、マツダが同24・2%増の2万台、その他が同24・2%増の2万台。

クルマ 100万台の大会

タイを抜き販売首位

財政出動を実施し、この値は14年にはさらに20%まで下がる見通しだ。ギリシャの債務問題で揺れる欧州を尻目に、インドネシアが安定成長を遂げられるのは、ひとえに98・99年のアジア通貨危機後の経済改革が奏功している(同)。財政健全化を進めたうえ、内需振興など経済基盤を強化し、08年のリーマンショックにも耐え、足元の欧州危機にも影響を受けずにすんでいる。

KITO

安全と効率化のための
きめ細やかなサービスと
信頼のメンテナンスを
ご提供いたします。



製品の販売、設計・設置工事からアフターサービス、さらに製品の操作指導や作業環境の改善など
ホイスト&クレーンの専門メーカーキトーが一貫してご提供いたします。
インドネシアで頼れるパートナーとして「PT. KITO INDONESIA」に全てお任せください。

ホイスト&クレーンの専門メーカー株式会社キトーは、インドネシアに現地法人「PT. KITO INDONESIA」を設立いたしました。
PT. KITO INDONESIA Wisma Keiai 5F, Jl. Jend. Sudirman Kav.3-4, Jakarta 10220 TEL: 021-572-4261 FAX: 021-572-4267 E-mail: sales@id.kito.co.jp

